

科 目	古典探究	単 位	2 単位	対 象	2 学年 染織デザイン科
使用教科書	精選古典探究 【大修館書店】	教科担当者	榊 原 愛		
副教材	○新国語便覧（第一学習社）○解析古典文法・解析古典文法演習ノート（桐原書店）○古文単語 330（尚文出版）○新明説漢文・ノート（いっずな書店）○進研WINSTEP（現代文 1・古典 1）（ベネッセ）○現代文単語（いっずな書店）				
目 標	【知識及び技能】古典としての古文と漢文を読解する能力を養う。そのことによって、文章の主題や要旨を的確にとらえる。【思考力・判断力・表現力等】ものの見方や感じ方、考え方を広くして、古典についての理解や興味・関心を深める。知的共感性とそれに基づく想像力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】古典作品がもつ価値への認識を深めるとともに、それを通して人生をより豊かにする態度を養う。				

1. 学習内容

(1) 古文編

①説話（『宇治拾遺物語』『十訓抄』） ②随筆（『徒然草』『方丈記』『枕草子』）

③物語（一）（『伊勢物語』『大和物語』） ④日記（『土佐日記』『更級日記』『十六夜日記』）

⑤和歌・歌謡・歌論（『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』『梁塵秘抄』『閑吟集』）

⑥物語（二）（『源氏物語』『大鏡』『平家物語』）

(2) 漢文編

①故事・逸話（「知音」「画竜点睛」「両頭蛇」「漱石沈流」） ②史伝『史記』（「鴻門の会」「項王の最期」）

③漢詩（「竹里館」「峨眉山月歌」「岳陽楼に登る」「贈別」） ④文章（「桃花源記」「蛇を捕らうる者の説」）

⑤思想（『論語』『孟子』『荀子』『老子』『莊子』『韓非子』） ⑥小説（「定伯、鬼を売る」「定婚店」）

2. 学習のポイント

①原文のみならず、現代語訳や視聴覚教材なども利用して、作品の書かれた背景や作者の置かれた立場、執筆の動機などを理解することも重要である。

②古文は、文章を正確に読んでその意味を理解しなければならない。意味がわからない語句があれば辞書等で確認をする。また、登場人物を整理して、だれの行為・発言かを確認する。古今異義語や多義語はもとより助動詞や助詞の意味、陳述の副詞の整理も欠かせない。

③漢文は、白文からでも確実な読み下しができなければならない。同じ漢字でも、日本語と漢文では意味が異なる場合があることに注意する。再読文字はもちろん、受身・使役・否定等の句形の整理が必要である。

④古典と現代文の相違点を確認して、時代背景や当時の人々の常識を知ること、私達の思想に影響を与えた部分について議論することが大切である。

3. 評価の方法

次の（１）～（５）を、「知識・及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の３観点から、総合的に判断して評価する。

(1) 定期考査、実力テスト、その他の週テスト

(2) 授業の内容を理解しているか、積極的に授業に取り組んでいるか。

(3) 授業のノートやプリントがきちんと整理されているか。

(4) 課題提出物が期限内にきちんと提出されているか。

(5) 勤怠状況や、日々の授業態度はどうか。